

サザンクロス
朝市

毎月第1・第3土曜日 10:00~12:00
12月24日(第4土曜日) 特別開催



浜松
サザンクロス
ほしの市

毎月第2日曜日 10:00~15:00

📍 輝きを求めて、砂山銀座サザンクロス商店街

全蓋式アーケードを生かして活気創出

現在、サザンクロス商店街で実際に商いをしているのは、日本茶販売店、衣料品店、呉服屋などの6店舗。それ以外はシャッターを閉じたままの店舗が並び、元店主の住居として使われている。なかには住宅に建て替えられた店舗もあり、商店街から住宅街へと様変わりしつつあるように見える。

しかし、全蓋式アーケード街であることは大きな魅力。天候に左右されず、車の通りが規制されて

いるのでイベントの開催にはうってつけだ。そこで当商店会ではまちの活性化のためにアーケード街をさまざまなイベント会場として提供してきた。月に一度開催される「浜松サザンクロスほしの市」もいまやすっかり定着し、開催日には大勢が詰め掛ける。

「商店会の主催で月に2度開催している朝市も、ここどころ出店者が増え、新型コロナ前は出店数が12店前後だったのに対し、最近では約35店が出店しています。

今年の6月には商店街にチョコレートの店もできました」と、商店会の会長を務める鈴木勝彦氏が現状を語る。

商店街に隣接する浜松駅南の高竜地区は約30年間にわたる区画整理を2018年によく終えた。スロータウン・スローフード・スローロードを掲げる同地区の会合には鈴木氏も出席している。イベント街か、住宅街か、はたまたスローロードか。商店街は大きな転換期を迎えようとしている。

砂山銀座サザンクロス商店街をモチーフにしたコミック単行本が発刊

サザンクロス商店街をモチーフに取り入れたコミック単行本が今年発売され、地域で話題となっている。作者は静岡文化芸術大学院デザイン研究科2年の宮本伶美さん。「シャッター街のさくら姫」は商店街の復興をテーマとした青春恋物語。宮本さんは本作品を浜松市街地のいくつかの商店会の会長に読んでもらいアンケートを行った。修士課程の研究報告として位置付け、その結果を研究報告に反映させる予定だ。



デビュー作となった第1巻を手にする宮本さん
『シャッター街のさくら姫』全2巻 ハルタコミックス (KADOKAWA)



新型コロナウイルス感染拡大の直前に開催された、地元プロレス団体「FLASH!!」の興行の様子

マーケットイベント出店者がサザンクロスで実店舗を開業

今年6月、サザンクロス商店街にクラフトチョコレートの店「ノネット」がオープンした。「浜松サザンクロスほしの市」に出店していたことが縁となり、ここの通りでの開店が決まった。今春頃までセレクト文具店だった居抜き物件に多少の改装を加えて営業をスタート。お客と顔を合わせた直接のつながりや、さまざまな物事との出会いを大切にしたい。主に取り組む商品は、ヨーロッパ、北米、アジアなどから輸入された

クラフトチョコレート。カカオの個性を感じられる大人向けのチョコレートで、素敵な包装デザインも魅力のひとつ。店主の石井珠美さんいわく、「パッケージがおしゃれなチョコは大抵おいしい」。レコードのジャケ買い気分分板チョコを選ぶのも楽しそうだ。



NONET (ノネット)

店主 石井珠美

浜松市中区砂山町358-27
砂山銀座サザンクロス商店街内
営業時間 9:30~18:30
定休日 水・木曜日
公式HP nonet-inc.com
Instagram @nonet_organicchocolate



砂山銀座サザンクロス商店会

会長 鈴木勝彦

1920年創業の日本茶専門店「まるい国茶館」の3代目。砂山銀座サザンクロス商店会の会長として、イベント開催の相談窓口となり、朝市の運営を取り仕切っている。

●浜松市中区砂山町

